

海津木苑施設等啓発

海津木苑施設等啓発 【実績】

No.	月日	曜日	啓発内容	団体名	参加人数
1	5月21日	日	食の祭典パネル等展示	市民	116名
2	5月30日	火	人権問題研修	古賀市新規採用職員	20名

1. パネル等展示（食の祭典） 5月21日（日）116名

写真省略

2. 施設研修（新規採用職員人権問題研修） 5月30日（火）20名

写真省略

3. 施設研修（新規採用職員人権問題研修） 《感想・要望》

- 住民運動により、一度は閉鎖したこの施設の、それからの住民との話し合いのなか、違う場所でよりよい環境でまた再始動したという、素晴らしいストーリーにただただ感銘を受けた。排育、という造語の意味をかみしめ、幼児保育に携わる者として、よりよい形で子どもたちに還元していきたい、と願う。
- 古賀市のし尿処理施設をめぐる公害問題、地域差別の歴史を知り、とても勉強になった。し尿処理は生活に必要不可欠と理解しながらも、差別被害にあっている子供たちを守る母親の気持ちを痛感した。し尿処理施設の受け入れを条件に土地開発の依頼をした結果、食品企業を誘致し、し尿処理施設と食品工場の共存、女性の雇用拡大に繋がり、素晴らしい成果だと感じた。
- 施設の意義、排育の大切さ、人権問題の内容は理解できたが、説明の仕方の中で要点がまとまっておらず分かりにくいところがあった。

♠ 【良く理解できた：12名】 【理解できた：8名】